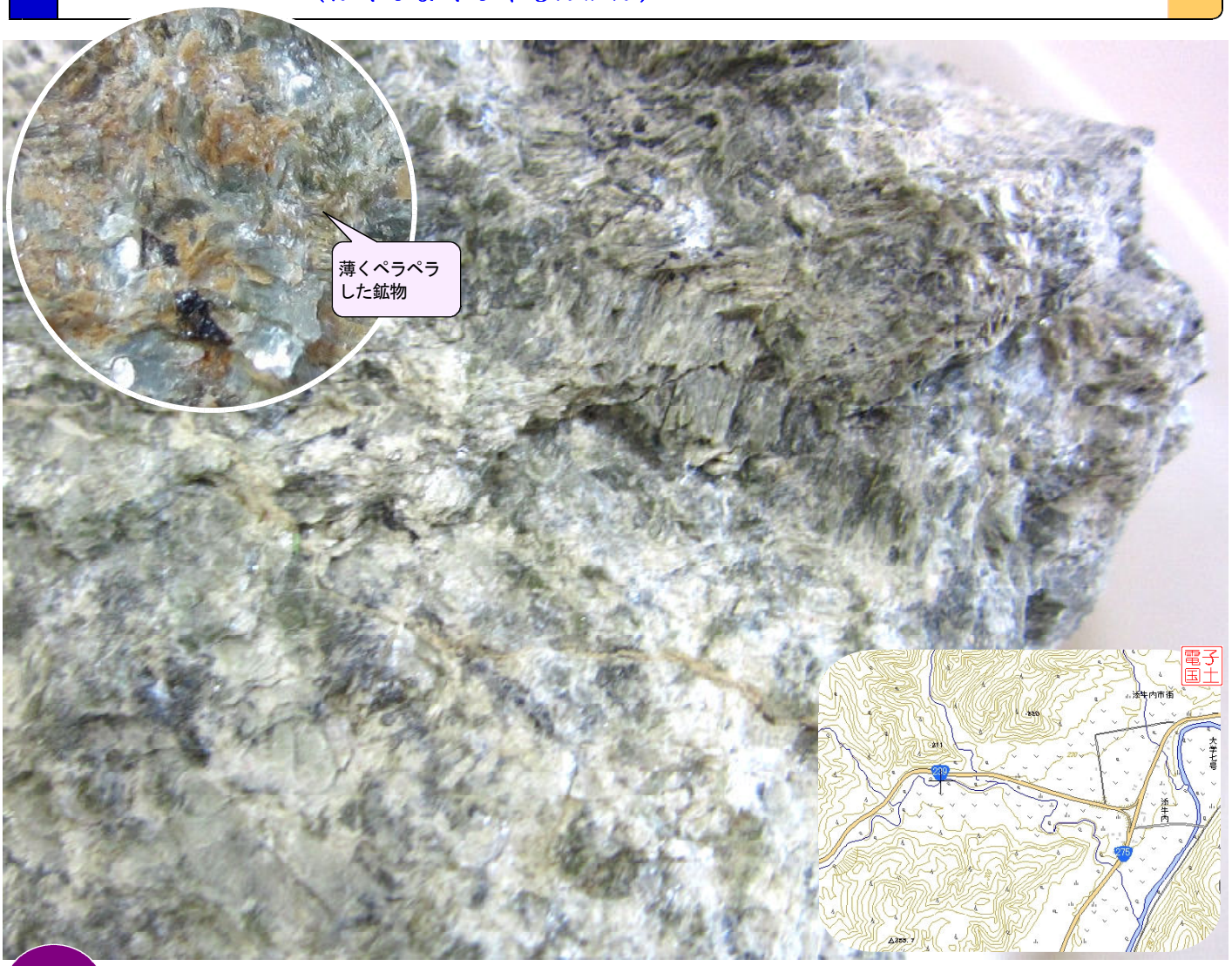
ありえない姿の石

岩石名　白色蛇紋岩　White Serpentinite
（はくしょくじゃもんがん）

時　代	中生代ジュラ紀
地質区分	幌加内オフィオライト
産出地	幌加内町添牛内

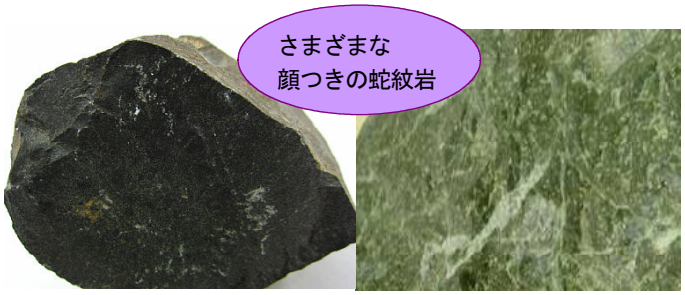


解説

幌加内町添牛内の河原

蛇紋岩は、一般的には黒色や濃緑色のものが普通であるため、この幌加内町添牛内の河原にあった白色の岩石が蛇紋岩だとは最初誰も考えていませんでした（白雲母かブルース石だと思われていました）。それほど見た目は一般的な蛇紋岩とは全くちがっているのです。しかし、この岩石に興味を持たれた北海道大学の（故）渡辺暉夫先生がこの岩石の化学分析を行ったところ、なんとこれが蛇紋岩であることがわかったのです！。もともとはかんらん岩だったものが蛇紋岩に変化したものですが、鉄の成分が少ないため、白色を示しています。熱によって顕著な裂開を持った特殊なかんらん岩が蛇紋岩化したものと考えられ、薄くはがれる構造を持っています。見た目だけではわからないことがあるものです。

渡辺暉夫先生は「学生に白雲母と見分ける実習に使いたい」と話しておられましたが･･･。



黒色の蛇紋岩　緑色の蛇紋岩

白雲母集合体